

このシリーズは、この豊中駅前を、まちの多くの人が願う『安全で安心して楽しく歩き回れるまち』にするにはどのようにしていけば良いかをみなさんと共に考えて行きたいと企画しました。ご意見、ご感想をFAX又はメールにてお寄せ下さい。

連絡先 FAX : 06 - 6858 - 6190 / メール : at.machi@mail.tmconet.com

『市と協働してまちづくりを進める』について考える

去る6月29日開催された当協議会定例総会において、豊中市から「豊中駅前まちづくり基本方針（交通計画）検討調査の報告がありました。今回はその意味とこれからの取り組みについてまちづくり支援課課長の森純一さんにお聞きしました。

—— 何故、基本方針を見直すことになったのですか？

森課長：「豊中駅前のまちづくりについて 基本方針」は平成7年にまちづくり協議会から提案された「まちづくり構想」を受けて、豊中市が平成9年策定したものです。

この基本方針には、地域の課題であった「交通混雑の解消」や「快適な歩行者空間の確保」をめざし、豊中亀岡線（大池小学校前の道路）の線形変更や南吉野線（エトレ豊中南側の道路）の延伸などの「公共施設整備」、「再開発や共同化」、歩行者空間充実のための壁面後退などの「建築物等の誘導」の3つの主要テーマについて、市の方針を示しています。その後13年を経過しているわけですが、その間、駅前広場や関連する道路整備が完成し、また、自動車交通量の減少もあって、以前は大きな課題であった交通渋滞が一定改善されてきた状況にあります。

そこで、基本方針のうち「交通計画に関する施策の必要性」について再検証することとしました。

—— 今回の調査でわかったことは？

森課長：この調査では、駅前の交通渋滞は現状で一定解消されていることから、もう一つの課題である「安全な歩行者空間の確保」の確保に向けた検証を行いました。

具体的には、現在の交通量において、再開発などの面的整備を前提とした公共施設整備を行わずに、現況のままで銀座通りや一番街のモール化や交通規制ができないかということです。

調査では、南吉野線（エトレ豊中南側の道路）の延伸や本町南交差点（りそな銀行前の交差点）の改良を行わず、銀座通りをフルモール化やセミモール化、速度抑制策を実施した場合の渋滞状況等を、交通シミュレーション・ソフトを使って再現しました。

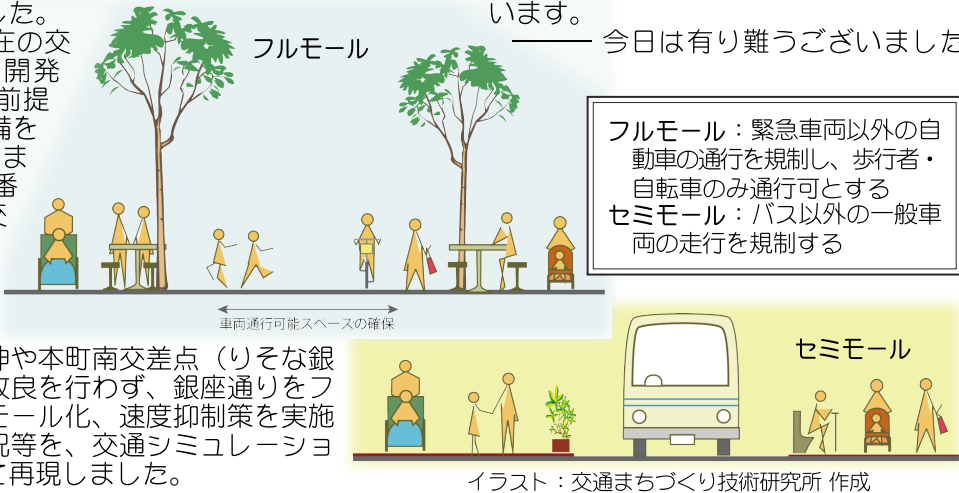
結果としては、どのパターンにおいても、基本方針で示した道路整備等を前提としなければ、周辺道路に深刻な渋滞やバスの運行に支障が生じることがわかりました。このことから、平成9年の基本方針策定時に想定した取組みの必要性は現在も失われていないことが確認され、基本方針の見直しには至りませんでした。

—— これから改善に取り組むために大事な事は？

森課長：今回の調査報告書には、まちづくり推進協議会のみなさんが実施された、「豊中駅前の歩行環境に関するアンケート調査」も掲載しています。そこからは、交通渋滞が一定解消されてきたものの、今も安全な歩行者空間の確保を求める声が多いことが確認されました。このことから、平成5年に豊中駅前まちづくり協議会がまとめた構想の「ゆっくり楽しく歩き回れるまち」の意義は現在も変わらず、その実現に向けた取り組みの重要性は変わっていません。

市の基本方針の実現は根本解決を目指すものですが、そのうち、公共施設整備は長い期間を要するものです。まちづくり支援課としては、今、まちづくり構想の実現に向けて協議会が進めておられる「通りの改善に向けた取り組み」を支援し、安全な歩行者空間の確保に向けた取り組みを協議会と共に進めていきたいと考えています。

—— 今日は有り難うございました。



イラスト：交通まちづくり技術研究所 作成

お問い合わせ：豊中駅前まちづくり推進協議会

TEL : 06-6858-6190 Mail : at.machi@mail.tmconet.com

会 員 募 集 中

共に、生き生きとした、誇りが持てる、安心して住み続けられるまちづくりを進めませんか

年会費（一口以上何口でも）
個人会員 一口 300円
商店会員 一口 1,000円

問い合わせ先：
まちづくりセンター（協議会事務局）
TEL / FAX: 06 - 6858 - 6190